

大阪保健医療大学アセスメントプラン 【令和2(2020)年11月制定】

アセスメントプランは、大阪保健医療大学のディプロマ・ポリシーをもとに本学における学修成果の到達度を測る指標とし、カリキュラムの見直しをはじめ本学の教育プログラムのPDCAに使用する。また、アセスメントプランを公表することにより、学生の理解や社会への大学教育の可視化や質の保証を目指す。

【検証対象】

- ・アドミッション・ポリシーを満たす人材であるか(であったか)の検証
- ・カリキュラム・ポリシーに基づき、学修が進められているか(いたか)の検証
- ・ディプロマ・ポリシーを満たす人材になるか(なったか)の検証

【検証レベル】

- ・学位プログラムレベル(各専攻・専攻科・研究科):① ② ③
- ・授業科目レベル:④
- ・大学全体レベル:⑦

【検証方法】

各専攻・専攻科・研究科

- ① 各学生のディプロマ・ポリシーの達成度評価における評価対象ごとに定められた尺度(「卒業・修了要件達成表」:GPA、実技試験評価表、臨床実習評価表など)を集計し、ディプロマ・ポリシーの各項目を分析するに必要な指標(国家試験合格率、就職状況調査、授業評価アンケート、学生生活アンケート、卒業後の就職先に対する調査、卒業者に対する調査、卒業時に卒業生からみた教育環境や学生生活に対する評価、等)を加えて、ディプロマ・ポリシー各項目の達成度を分析する。
- ② カリキュラム・ポリシーに基づき順調に学修が進められているか(いたか)を検証し、また、ディプロマ・ポリシーの到達度から、ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラム・ポリシーとなっているか(いたか)を検証する。
- ③ ①および②の分析から、アドミッション・ポリシーが妥当(だった)か、また、アドミッション・ポリシーを満たす人材が選択できているか(いたか)を分析し、入試方法等の検証・改善に反映させる。
- ④ ディプロマ・ポリシー各項目を達成するためのカリキュラム・ポリシーの項目に該当する科目を特定して、授業評価アンケート等、必要な指標を用いて各科目の評価方法の妥当性を分析する。
- ⑤ ①～④の分析結果をレポートとしてまとめ、5月末を目途に運営会議に提出する。
- ⑥ ⑤の内容は、毎年6月から作成する自己点検評価報告書に反映させ、内部質保証システムに則り、成果や改善向上方策を自己点検して、事業報告、事業計画、中期展望及び期間中の取り組み(5ヵ年計画)に反映させる。

運営会議

- ⑦ 大学運営会議では、提出された検証レポートを統合し、大学全体として学修成果の到達状況を評価・検証するとともに、学位プログラムの改善や三つのポリシーの見直し等につなげていく。
- ⑧ の内容は、毎年6月から作成する自己点検評価報告書に反映させ、内部質保証システムに則り、成果や改善向上方策を自己点検して、事業報告、事業計画、中期展望及び期間中の取り組み(5ヵ年計画)に反映させる。

アセスメントプラン（評価の方針） 補足資料

学部・専攻科

ディプロマ・ポリシーを満たす人材になるか（なったか）の検証

カリキュラム・ポリシーに基づき、学修が進められているか（いたか）の検証

アドミッション・ポリシーを満たす人材であるか（あったか）の検証

	①ディプロマ・ポリシーに関する 評価・検証（主に卒業時・卒業後）	②カリキュラム・ポリシーに関する 評価・検証（主に在学中）	③アドミッション・ポリシーに関する 評価・検証（主に入学前・入学後）
	大学運営会議にて、提出された検証レポートを統合し、大学全体として学修成果の到達状況を評価・検証する 学位プログラムの改善、3つのポリシーの見直しにつなげる		
大学レベル	GPA（卒業時） 国家試験の合格率 就職率 卒業・修了要件達成表（卒業時） 卒業生調査 就職先アンケート	GPA 進級率・退学率・休学率 学生生活アンケート 卒業・修了要件達成表	各種入学試験 GPA（1年修了時） 進級率・退学率・休学率（1年次） 入学者調査（AP理解度）
	専攻、専攻科毎に、下記項目にて評価・検証を行う		
学科レベル	GPA（卒業時） 国家試験の合格率および成績分布 就職率 卒業・修了要件達成表（卒業時） 卒業生調査 就職先アンケート	GPA 進級率・退学率・休学率 学生生活アンケート 卒業・修了要件達成表 授業評価アンケート（オプション） 全一斉試験（オプション）	各種入学試験 GPA（1年修了時） 進級率・退学率・休学率（1年次） およびその要因 入学者調査（AP理解度） プレースメントテスト（オプション） 全学一斉試験（オプション）
	各科目担当者により、下記項目にて評価・検証を行う。		
授業科目レベル		成績評価（平均値、分布、単位取得率など） 授業評価アンケート	

*オプションを検証に用いるか否かの判断は、各専攻・専攻科に委ねる。